



2017年9月

地域自然情報研究会

第64回日本生態学会大会
ポスター最優秀賞(保全)



ため池の管理放棄と水生植物の保全 ～社会条件の空間異質性と種特性を考慮した絶滅リスクの評価～

外山 史也 氏 (東京環境工科専門学校)

土地の放棄によって世界各地で伝統的な管理によって維持されてきた生態系の生物多様性が低下している。これまで放棄に対する脆弱性は種間で異なることが明らかにされてきた。しかし、放棄に対する種の絶滅リスクの評価には、種間の脆弱性の違いのみならず、人口や管理体制といった社会条件の違いに起因する暴露の空間的な偏りが大きく影響するのではないかと。この問いを検証するため、兵庫県淡路島のため池を対象に野外調査を実施し、水生植物64種の絶滅の推移をシミュレーションした。“ため池の管理放棄”と“水生植物の保全”をキーワードに最新の研究成果を紹介する。



開催日時

2017年9月10日(日) 15:30~17:30

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

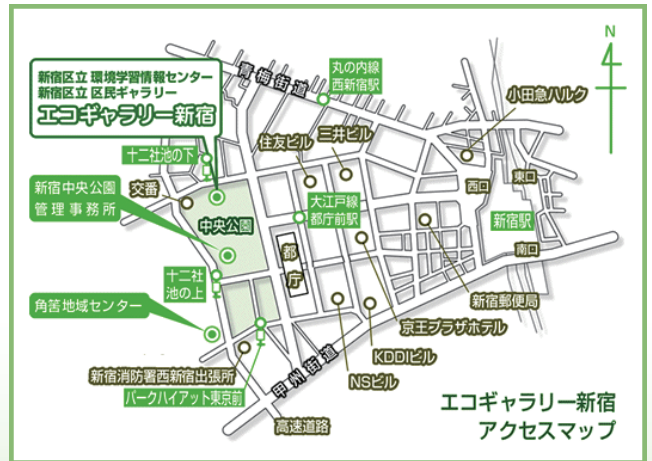
当NPOのホームページ(下記)よりお申し込み下さい。

<http://www.geo-eco.net/>

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(gcnken@gmail.com 担当:梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、年3~4回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク(GCN)は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。

<http://www.geo-eco.net/index.html>

